２学年第１時　「スーパー新聞ジグソー」支援プラン　　　協力

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ『ゆびジャン』　　：準備物なし

　　メインＥＸ『スーパー新聞ジグソー』 ：新聞見開き１枚（グループ分）

セロテープ（グループ分）

【ねらい】

　学級や班での「協力」がテーマである。「協力」は、まわり（相手）の気持ちを考えながら自分の行動を決めていくものである。「相手の気持ちを想像しながら自分の主張をしていく」アサーションを駆使できる場である。『新聞ジグソー』（次々頁に掲載）をクオリティーアップした活動を通じて協力する力を育てていく。

【概要】

　『ゆびジャン』で気持ちをひとつにするウォーミングアップを行った後、『スーパー新聞ジグソー』に入っていく。『新聞ジグソー』は、班の中で破った新聞を元に戻すという作業であるが、この授業では、各班が破ったピースを学級の一カ所に集め、これを元の形にする。一見、不可能に思える作業であるが、時間が経過するにつれて、各班の新聞が元に戻っていくのである。自分の班以外のピースを持って帰ると他の班に迷惑がかかってしまう。終わってみると、この授業は競争ではなくて学級全員や班の仲間の協力で成り立っていることに気づくのである。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『ゆびジャン』  ①班で声を揃えて「ゆびジャン！」と言いながらじゃんけんの要領で０～５までの数を手（指）で示す。全員が同じ数字を出せば終了。  　 グーは０、人差し指は１、中指は２…  ②全員が揃うまで、何度でも行う。  （または、時間内に何回合わせられたかを数える） | ○ルールを徹底する。  【ルール】  ・相談しない。 |
| エクササイズ | 『スーパー新聞ジグソー』  ①新聞見開き１枚とセロテープを代表が取りに行く。  ②新聞の記事について３分間班でトーキングする。  ③班で一人ずつ立ってもらい、全班一斉に破る。  見開き１枚→一人目、半分に破る、２ピース  　　　　　　　　二人目、それをまた半分に破る、４ピース  １６ピースになれば終了  ④班に残す１ピースを決め、残りを全て教室の一カ所（決められた場所）の箱へ持っていく。 | ○見開き１枚の新聞は子どもが選べる方がいい。  ○記事についてのトーキングの時点で新聞紙を破ることを伝えてはいけない。  ○班で自由に破ると乱雑に破ってしまうことが多く、雰囲気がくずれてしまうことがある。一回ずつ全員そろって破ると場が乱れない。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | ⑤教員の合図で、一人ずつ箱から１ピースを選んで班に持ち帰り、セロテープで貼りつけて、新聞を復元していく。  （順番を決める・・例えば班で右回りとか）  （時間が少ない場合は２ピース持ち帰るでもいい）  ⑥もし、他の班のピースを持ってきたことに気づいた場合は、次の人が取りに行く時に、箱に返す。１枚返した場合は、２枚もって帰ることになる。  ⑦全班が完成した時点で終了。 | ○箱は底面積が広く、高さが低いものが望ましいが、広い台のようなものでもよい。  ○教員は進行状況から判断して、作戦タイムを適宜挿入する。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊班で一人ひとりがどんな役割を果たしたか。  　 ＊完成するのにどんな工夫やがんばりがあったか。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・ひとりではなかなか出来そうでないことも、他者からの援助やみんなの協力があれば、実現可能になることを、具体的な事実で返していく。 |

〔参考文献〕「アドジャン」『構成的グループエンカウンター事典』

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　國分康孝他編著　図書文化社

　　　　　　「新聞パズル」『エンカウンターで学級づくりスタートダッシュ』

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　諸富祥彦他編著　図書文化社

【ポイント】

　『新聞ジグソー』自体は、雑に破いたほうが位置を特定しやすくなるので元に戻しやすい。しかし、そうなると達成感を得るチャンスが奪われるだけでなく、教室の雰囲気が乱れてしまう可能性がある。学びや気づきの場をしっかりとつくるためにも、きっちりと丁寧に破ってもらったほうがよい。そのために、破る人に全員立ってもらって、ひとりで破るという作業を、１６ピースになるまで４回くり返す。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・スーパー新聞ジグゾーではみんなで協力することができました。班の人と仲良くできて良かったです。  ・何十枚もあるピースから取ってくるのが無理って思ったけど、班の人がヒントをくれたりして、完成したときはすごく嬉しかった。  ・今日はみんなと協力できてよかったです。あまり話すこともない人もだれもと話ができて新聞を完成することができました。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・わたし自身も、こんな作業を子どもができるのかと感じていました。しかし、模擬授業で実際自分自身が取り組んでみると、グループの人に助けてもらったり、同じ新聞を見ていても人によって覚えている場所が様々でした。自分としては自信がなかったのですが、「こういう記事を取ってきてね。」って教えてもらったことが助けになりました。教師ながら完成したときは嬉しかったです。 |

＊道徳の内容項目との関連：　2-(3) 信頼友情　　4-(4) 役割と責任の自覚

（担当：木村　透）

付録　「新聞ジグソー」

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『気持ちを合わせて　カードでドン！』  ①３種類の絵を描いたカードを全員分用意しておく。  ②班になり、お互いに向かい合って座る。  ③３つのカードの中から一枚のカードを選ぶ。  ④「カードでドン！」のかけ声にあわせてカードを出す。  ⑤全員のカードがそろったら拍手！  　　　＊カードはＨＰよりダウンロードできます。 | ○明るくリズミカルに行う。  ○３種パターンだけでなく５種パターンもあります。 |
| エクササイズ | 『新聞ジグソー』  ①各班、新聞見開き１枚を教員の指示に従って３２ピースに破って分割する。  ②教員の合図で破った新聞をもとに戻す。その際、各ピースのつなぎ目はセロテープで貼る。  ③ピースをつぎ合わせもとに戻す。  ④完成したら黒板に掲示する。 | ○活動の中で起こってくるさまざまな感情を意識し、それをコントロールしながら成功せさせることをしっかりと伝える。  ○新聞を破るのは教員の合図で足並みをそろえて行う。 |

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・「カードでドン！」は思った以上にみんなそろわなかった。でも、そろったときうれしかった。  ・「新聞ジグソー」は字のところが難しかった。・みんなで協力する大切さが分かったし、グループのみんなとすごく仲良くなれました。  ・今年１番はじめのこころ♡ほっとタイムを楽しみにしていたので今日できて本当に嬉しかったです。  ・今日は個人でやる作業ではなくみんなで協力してやるものだったので、チームワークが大切だと思いました。  ・みんなとたくさん話すことができました。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・新聞をばらばらにしてそれをまた元通りにするという単純な作業の中にも、工夫の余地があるということに気づかせらました。班でそれをすることによって楽しく協力でき、友達のよさが分かったのではないかと思います。 |

（担当：秦　加代子）